

やすサビ



議会だより

第181号

2025.5



にゅうがくおめでとう (安田小学校入学式)

令和7年3月定例会

町長執行方針	2
一般質問 2氏が問う	5
町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	7
条例改正・制定	7
安田町振興作物栽培強化施設の指定管理者の指定 ...	7
令和6年度補正予算	8
令和7年度当初予算ほか	9

3月4日開会。町固定資産評価審査委員会委員の選任同意、条例改正・制定、安田町振興作物栽培強化施設の指定管理者の指定、令和6年度補正予算、令和7年度当初予算等、19議案を審議、2氏が一般質問を行い、7日に閉会した。

執行方針(概要)



黒岩町長

◆新年度に向けた対応◆

5つの重点施策を基本に喫緊の行政課題である、人口減少対策・中山間振興対策・南海地震等の防災対策強化に取り組む。

◆社会基盤・環境◆

地域住民の生活道路となる町道の改良整備は、厳しい財政事情の中、地域の実

情を十分把握し、優先順位をつけて対応。町道与床本田島線の整備、高刈や舗装など維持管理及び橋梁の修繕等を推進。

水道事業は、東島・安田地区の配水管の一部を更新・整備し、生活用水の安定供給に努める。

安田川の清流保全対策は、生活排水処理対策を重点に、浄化槽設置の普及促進に努め、汚水処理の向上に取り組む。

◆産業振興◆

基幹産業である農業は、資材等の高騰が続く中、持続可能な農業の確立に向けた取り組みが一層重要。地域計画を基に基盤整備の推進と優良農地の確保対策や中山間地域での産地体制の

強化を図る。

水産業振興対策は、船舶の安全な航海確保のため、漁港内の泊地浚渫を計画。

商工業振興対策は、事業者の廃業等が進む中、本町で事業承継を行う者に対し、高知県事業承継引継ぎ支援センターと連携して、1件の事業承継を支援する。

移住・定住対策は、移住・定住促進計画を基本に、県人口減少対策交付金を活用し、若年層の確保や、出会いから結婚、子育てまで切れ目ない支援を実施する。

働く場所の確保対策は、特定地域づくり事業協同組合を設立。本年7月頃から組合加入事業者に派遣する計画。

また、サザンヒルズ桜坂団地の第2期宅地造成計画を立て、町営優良賃貸住宅建設の検討を進める。

ふるさと納税は、令和7年度から中間事業者を活用し、より専門的な運営に努め、町の貴重な自主財源の獲得に取り組む。



持続可能な農業の確立

観光振興対策は、安田の夢プラン推進会や高知県東部観光協議会等の既存組織との連携強化を図り、日本の遺産をはじめとする町内の

観光関連情報の一元管理とあわせ、町内基幹施設への周遊促進や、中芸地域全体を含めた滞在型旅行商品の造成などに取り組むほか、

「あんばん」の放送を契機とした、観光振興への取り組みが重要となっている。

◆安全・子育て・健康・福祉◆

あったかふれあいセンター事業については、各種事業内容やサテライト会場の拡充に努めていく。

安心生活創造事業では、関係機関と連携し、相談体制や在宅生活の支援、見守り活動など地域のニーズに対応できる体制の強化を図り、地域とともに考え支え合う支援の仕組みづくりを進める。

少子化対策は、赤ちゃん誕生祝い金や子育て定期便事業、児童医療費の無料化などの事業を継続し、安心して出産や子育てができるよう子育て支援の充実に取り組む。

また、出会いイベントへの参加促進など、出会いの機会を創出するとともに、結婚や定住を後押しする結婚祝金交付事業を新たに実施する。



安心して子育てできるまちづくり

国民健康保険事業は、令和12年度の県内統一保険料の導入に向けて計画的に見直しを図っていく。県から示される統一保険料の推計等に注視し、さらなる税率の見直しや基金の計画的な確保に取り組む。

安全・安心で安らぎのあ

るまちづくりについて、町道の危険箇所カーブミラー等の交通安全施設を整備。また、安田小学校周辺に子ども見守りカメラを設置し、児童生徒の見守りと通学路の安全確保に努める。大規模災害被災後、迅速かつ着実に復興できるように

平常時から備えるため、令和7年度から3カ年で事前復興まちづくり計画を策定。

◆教育・文化◆

認定こども園は、要望の多い0歳児から2歳児の保育士確保に努め、完全無償化を継続。

学校給食について、食材等の物価高騰の対応として、国の物価高騰対応重点支援地方交付金を活用し、値上げを行わず、保護者の経済的負担を軽減する。

安田小学校のプール改築は、新年度の水泳授業終了後、工事に取り掛かる。

安田中学校は、昇降機（エレベーター）設置、トイレ等の改修を行い、要配慮者等にも対応できるよう施設のバリアフリー化を図る。

子どもの居場所づくり事業は、午後6時までの開設時間を検討。また、地域ぐるみで学校運営を支援する、高知県版地域学校協働本部の充実・強化を推進。

町制施行100周年記念

事業『新安田文化史』の続編となる町史編さん事業は、3月に本編の製本完了であったが、執筆者からインタビュー者等への最終確認の要望もあり、令和7年度に製本する。

◆協働・コミュニティ◆

町民との「対話と協働」の一環として取り組んでいる、魅力あふれるやすだ地域再生支援事業は、6年度は、防災対策、耐震診断・家具転倒防止対策事業の周知徹底、戸別津波避難カ尔特作成、地域ごとの避難訓練実施の4項目を重点的に取り組んだ。

集落活動センターやすだの取り組みは、6つの部会で、商店街へ人の流れを生み出す取り組みや、未来を担う子どもたちの生きる力の向上、耕作放棄地対策などを進めた。

集落活動センターなかやまは、多目的交流センターなかやまを拠点に、「なかやま山芋フェスタ」や「コミュ



子ども映画づくり教室

「ニティカフェよってん屋」の開催、高知大学や日本遺産推進協議会と連携した交流事業などに取り組んでいる。

多目的交流センターなかやまの映像村スタジオでは、県外の大学生や高校生が映像作りの拠点として活用。関係機関と連携し、町内小

中学生を対象に映画作り教室の開催などを行っている。

中山地区振興ビジョンについて「誰もが安心して住み続けられる中山」を目標に、中山地区の将来の人口規模を見据え、今後5年間の支援の方向性や支援体制等を取りまとめ策定する。

7年度は、リモコン式草刈り機の実証試験や、外部の視点で地区の魅力を情報発信するため高知大学との調査研究を行う。

町総合振興計画及び町まち・ひと・しごと創生総合戦略について、後期基本計画及び第3期創生総合戦略を取りまとめ、7年度からの指針とする。

人口の将来目標を示す、人口ビジョンは、国及び県のビジョンを受けて策定するよう指示があったが、国の指針が示されなかったため、本町の人口ビジョンは、7年度中に策定。



議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽においでください

* 次回の定例会は、6月上旬にひらかれます。

一般質問

こころが知りたい

Q

放課後子ども教室を拡充できないか

A

令和7年4月から時間延長する



田之上議員

問 現在、放課後子ども教室は福祉館で平日15時から17時まで、夏休みは文化センターで行っている。放課後、子どもたちが安心して過ごせる場所となっているが、小学校からは遠く、利用者の中には遠方地域の子ともいる。また、福祉館までの道のりは歩道もないので、低学年の子どもを持つ保護者からは、危険を感じる、という声もある。

運営時間も、さくら園が18時半までに対し、福祉館は17時までと短く、保護者は小学校への入学を機に、働き方を変える必要があり、収入も減少する。

そうした家庭を支援するためにも、勤務時間が長い保護者でも預けられるように、運営時間の延長は必要不可欠。

小学校から福祉館までの距離を考えると、安心、安全に通える場所の増設や、人材の増員などで、放課後子ども教室を拡充できないか。



中川教育次長

答

保護者からの意見・要望等を踏まえ、現在福祉館

で実施している放課後子ども教室の開催時間を、令和7年4月から、平日午後3時から午後6時まで、水曜日は午後2時から午後6時まで、1時間延長する。

福祉館までの距離や道中を不安視する意見もあるが、現状では学校の空き教室や周辺に適地がなく、当面は福祉館での開催を継続する考えである。

また、実施体制については、従来のコーディネーター1人とボランティアサポーター数人に、今回の時間延長にあたり新たに安田小学校の学習支援員等から輪番制で1人を加え、常時2人以上での見守りを実施し、

子どもたちの安全を確保する計画としている。

放課後の子どもの居場所づくりについては、財源対策を含め、場所と人材の確保が必要不可欠であり、現

状できる限りのことを実施しているが、引き続き保護者ニーズを的確に把握しながら、しっかりとした体制を整えていくことを念頭に、取り組みを進めていきたい。



放課後子ども教室

Q 農地の有効利用による農業振興対策について問う

A 農地の基盤整備を行い、農地の利用促進を図る



中島議員

問 本町では、農業者の高齢化が進む中、離農や廃業に伴い遊休農地が増えている。

これまで農業委員会が中心となり、農地の貸し借りや売り買いなど利用調整を行ってきたところでもある。

また、農作業の受委託により遊休農地対策も図られている。

本年4月からは農業経営基盤促進法の改正に伴い農地の出し手と受け手による市町村の窓口を通じた利用権の設定ができなくなる。

農地法第3条に基づく賃貸借の制度は4月以降も継続されるが、農地中間管理機構による利用権設定では、機構への協議、書類作成のあと市町村に諮るため相対による賃貸に比べ利用権の設定に時間がかかり賃貸借が促進されないことも予想される。

現状では、空いている農地があっても貸し手と借り手の利用意向が見えにくく、マッチングが進まないこともあり得る。

また、農地についても昨年頃から相続登記が義務化され、これまでに相続登記ができない田畑も過去にさかのぼり相続登記が必要になる。

将来の担い手と農地利用の在り方を定める本町の地

域計画が策定される中、遊休農地の解消及び有効活用を図る上で今後どのような農業振興施策を進めるのか問う。



小島経済建設課長

答

今後の農業施策については、本年度策定する地域計画において、10年後の農地利用意向を踏まえた目標地図が作成されることにより、今後遊休農地化が懸念される農地等が見える化されること、また、本年度実施した農地所有者に対するアンケート調査の回答に記載された賃貸借、売買等の意向も活用し、農業委員会、農地中間管理機構、高知県農協などの関係機関と共有しながら、20年後、30年後も本町が農業立町として生き残っていくために、農業



利用権設定が完了した農地

の原点である農地の基盤整備をしっかりと行い、新規就農、規模拡大農家への集積などによる農地の利用促進

を図っていきたい。

人 事

条例改正・制定

◆町固定資産評価審査委員会委員の選任同意◆

内 容

地方税法の規定により、固定資産評価についての不服申し立てに対する審査機関として設置している、町固定資産評価審査委員会委員3人のうち1人の任期が満了となることから、後任委員の選任について同意を求めるもの。

◆職員の旅費に関する条例の一部改正◆

内 容

国家公務員等の旅費に関する法律等の一部改正に伴い、国の旅費規程等に準じ条例の一部を改正するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正◆

内 容

育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、職員の勤務時間、休暇等に関する条例は、超過勤務の免除対象となる子の範囲を3歳未満から小学校就学前の子に拡大するもの。



有岡 光弘 氏
(63歳・東島)

審議結果…全員賛成(同意)

職員の育児休業等に関する条例は、非常勤職員の部分休業承認要件として引用している条項の変更を行うもの。

審議結果…2件とも全員賛成(可決)

(可決)

◆安田町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正◆

内 容

災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、近年の大規模自然災害に備えるため、審査委員会の設置規定及び遺族の範囲に兄弟姉妹を追加するため、条例の一部を改正するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆安田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定◆

◆安田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正◆

改正◆

◆安田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正◆

内 容

条例制定は、児童福祉法の改正に伴い、乳児等通園支援事業に関する規定が新設されたため設備及び運営に関する基準について制定するもの。また、条例の一部改正については、国の定める設備及び運営に関する基準等が改正されたことに伴い、関係する条例の一部を改正するもの。

審議結果…3件とも全員賛成(可決)

(可決)

指定管理者の指定

◆安田町振興作物栽培強化施設の指定管理者の指定◆

内 容

指定管理期間満了に伴い、公募、選定手続きを行った結果、現指定管理者の株式会社 高知リサイクルセンター代表取締役 植木仁登を指定するもの。

指定期間は令和10年3月31日まで。

問(黒岩議員)

事業収支見通しを見る限り、赤字収支となっているが、これによる指定管理者のメリットはあるのか。

答 作付面積や出荷量から指定管理期間中の経営状態は厳しい状況にあるが、指定管理者は産業廃棄物を再利用した肥料の製造販売等複数の事業運営を行っており、マンゴー栽培においても肥料を活用した環境型栽培に取り組む

など、自らが営農すること
で肥料の周知と企業のPRにも
つながることから、強い意欲
を示し取り組みようとしてい
る。

審議結果…全員賛成(可決)

補正予算

◆令和6年度町一般会計及
び特別3会計(国保・後
期高齢・土地開発)補正
予算◆

内容

年度末における決算見込
みによる追加及び更正、不
用額の整理を行うもの。

補正の主な内容

◎一般会計(第7号)

○U・Iターン希望者住宅改
修補助金の減額

900万円
○特定地域づくり事業協同
組合補助金の減額

296万円
○ふるさと納税事業報償費

の減額

207万円

○国土土地籍調査委託料の減
額

3488万円

○あったかふれあいセン
ター事業委託料の減額

518万円

○赤ちゃん誕生祝金の減額

150万円

○中芸広域連合(保健福祉)
負担金の減額

366万円

○新型コロナウイルスワクチン接種
費用助成の減額

200万円

○合併処理浄化槽設置整備
事業補助金の減額

185万円

○瀬切地区導水施設整備工
事費の減額

771万円

○安芸広域ごみ処理施設負
担金の減額

321万円

○中山地区振興ビジョン策
定委託料の減額

731万円

○新規就農支援事業補助金
の減額

1020万円
○農地費委託料の減額

700万円
○住宅耐震化促進事業補助
金(設計・改修)の増額

190万円

○町史等作成委託料の減額

400万円

○道路橋りょう施設災害復
旧工事費の減額

1000万円

など

総額2億2750万円減額

補正後の予算総額

30億9240万円

◎国保会計(第3号)

○一般被保険者療養給付費
の減額

3500万円

○一般被保険者高額療養費
の減額

1500万円

○財政調整基金積立金の増
額

800万円

など

総額4330万円減額

補正後の予算総額

4億3072万円

◎後期高齢会計(第1号)

○後期高齢者医療広域連合
納付金の減額

14万円

補正後の予算総額

5476万円

◎土地開発会計(第1号)

○事業用地先行取得費等の
減額

70万円

補正後の予算総額

30万円

質疑

問(黒岩議員)

土地開発会計の財産収入
の実績がないが、どうい
う状況か。

答 今年度は、売り払い実
績がなかった。今後は計画
を立てて処分していくよう
努力する。

問(鶴田議員)

町内各所にみられる老朽
化住宅の撤去について、避
難路の確保等から所有者に
対し協議しているか。

答 住宅の処分は原則所有
者が行うものであるが、町
道沿い等の危険箇所につい
ては、処分に係る補助金対
応など、話をしている。相
続関係などにより難しいこ
とはあるが、対応を図る。

審議結果…4件とも全員賛成
(可決)

令和7年度当初予算を可決

一般会計 34億5000万円
 特別3会計 4億7460万円
 簡易水道事業会計 2億7552万円

当初予算

◆令和7年度町一般会計・
 特別3会計(国保・後期
 高齢・土地開発)・簡易水
 道事業会計予算◆

内 容

- 移住・定住促進事業 782万円
- 特定地域づくり事業 871万円
- 物価高騰対応重点支援事業 3626万円
- ふるさと納税推進事業 5398万円
- あったかふれあいセンター事業 2927万円
- 新規就農支援事業 1350万円
- 農業用水路等長寿命化事業(下島頭首工外) 6800万円
- 事業承継等推進事業 260万円



予算特別委員会

- 宅地開発事業 1700万円
- 社会資本整備総合交付金事業(町道改良事業) 8100万円
- 道路メンテナンス事業(橋梁保全事業) 6400万円
- 木造住宅等耐震対策事業 2149万円
- 事前復興まちづくり計画策定事業 480万円
- 子どもの居場所づくり事業 222万円
- 安田中学校バリアフリー化事業 6734万円
- 安田小学校プール改築事業(債務負担行為) 1億9300万円
- 国保・後期高齢・介護の各保険事業 5億5452万円
- 安田簡易水道施設整備 1億975万円



予算特別委員会

◆特別委員会設置◆

当初予算審議について予算特別委員会を設置。

委員会は、議長を除く9人で構成し、委員長に小松延茂議員、副委員長に内川議員を選任した。

質疑

問



黒岩委員

一般会計の寄附金（ふるさと納税）1億円の計上額は、過去の実績を見てもこの寄附金は不確定要素が強いと思うがこの積算根拠は。また、これに対する取り組みは。

答 当初予算額は過去最高であった1億円程度を目指し計上。

今までは、町職員だけでふるさと納税業務を担ってきたが、専任でなく十分な対応が難しかったことから、他の市町村の取り組みを参

考に中間事業者を導入し、一定の寄附額の上昇を見込んでいる。

問



中島委員

観光総務費に大阪万博への旅費を計上とのことだが、どのような内容か。

答 8月22・23日に大阪万博で、高知県東部観光協議会主催の高知県東部フェアとして管内9市町村が、特産品出展や物販などを来場者向けに行うイベントを計画しており、これに参加し本町のPRにつなげていくとするもの。

問



安並委員

災害対策の事前復興まちづくり計画策定事業とあるが、災害には豪雨災害や南海トラフ地震などさまざまあり、災害によって復興の



不動西防災訓練（平成23年9月）

在り方も変わるが、具体的な内容は。

答 本事業の災害規模の想定は、震災、大規模災害を想定。本計画は主に津波等で被害を受ける浸水区域のまちづくりを念頭に計画策定を行う。

問



太田委員

高齢者の保健事業で個別的支援、生活習慣病等の重症化予防に取り組むとあるが、どのような内容か。

問



鶴田委員

中山間振興ビジョンが策定されるが、多目的交流センターなかやまに隣接している旧中山小中学校体育館と同プールの施設は活用するのか、振興ビジョンにどのように反映していくのか。

答 旧中山小中学校体育館及びプールについては、今回の中山間振興ビジョンでは触れていない。両施設の活用は、旧中山村役場を含め協議会を立ち上げて地域住民の意見を聞く計画をしていたが、旧中山村役場の火災により進んでいない。

答 健診や介護サービス等につながない高齢者に対し、電話や訪問等により健康状態や生活状態を聞き、健診などへ受診勧奨を行う。また、健康教室や地域支援事業等を一体的に行い低栄養防止、生活習慣病等の重症化予防に取り組む。

今後の課題として地域含め検討していきたい。

問



内川
副委員長

『あんばん』放送に合わせ、

高知県に多くの観光客が訪れるが、県東部地域にどのような方法で呼び込むのか。また、中芸地区の日本遺産を含め、この好機をどのようにに生かすか、観光振興を積極的に進めていく考えはあるか。



どっぶり高知旅キャンペーン2ndシーズンスタートイベント

答 ごめん・なはり線の各駅キャラクターをモチーフとしたラッピング列車運行、東部観光協議会ではデジタル観光マップや観光周遊ルートの実態調査も行っており、この好機を有効に生かし日本遺産協議会と連携して地域の活性化に努めていきたい。

問



田之上委員

現在、消防団員が減ってきているが、団員の募集方法はどのように行っているか。

答 町消防団員は、定数65人に対し欠員が12人の状況。特に、中山分団は人口減少が進み若い人材が少ない。現在の募集方法は各団員から声がけをしている。団員の任命は中芸広域連合長のため、今後、消防本部とも検討していく。

問



小松
副委員長

庁舎地下の排水ポンプ設置工事について、予算金額が大きいがどのような内容か。

答 庁舎西側は、建設時に湧水の確認があり、4台の排水ポンプを既設している。昨年のメンテナンスの際に東側で湧水が確認され、今回、新規で4台の排水ポンプを設置する。

問



小松
委員

残土場候補地調査が予算計上されているが、この内容は。

答 工事にかかる残土置き場が不足し、仮設道の搬出も兼ねながらやりくりしている状況。令和6年度は候補地選定業務で5カ所選定。来年度は、その中からさらに現実的な残土場確保の検

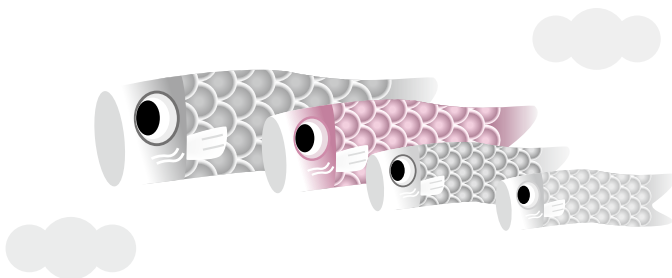
討に向け、用地測量等に必要な委託料を計上。

〔審議結果の報告〕

一般会計・特別3会計・簡易水道事業会計は、原案のとおり可決した。

審議結果…5件とも全員賛成

(可決)



○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ▲：除斥 一：議長

[illegible]

議会のつぎ

1月

15日〓中芸地区町村長・議長及び商工会正副会長意見交換会(田野町)
29日〓デジタル化推進検討委員会

2月

1日〓2025南国土佐観光びらき(高知市)
4日〓中芸広域連合議会全員協議会
8日〓国道493号和田トンネル開通式(北川村)
13日〓高知県町村議会議長会理事会(高知市)
14日〓四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟冬期中央要望(東京都)
17日〓海部郡・安芸郡町村議会議長・副議長研修会(北川村)
19日〓総務教育常任委員会
安田駐在所連絡協議会総会
20日〓産業厚生常任委員会
21日〓高知県町村議会議長会第76回定期総会(高知市)
高知県町村長・町村議会議長大会及び意見交換会(高知市)

26日〓議員協議会

デジタル化推進検討委員会
27日〓第1回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会

28日〓議会運営委員会
議会広報編集委員会(安芸市)

3月

11日〓安田中学校卒業式
15日〓高知東部自動車道 南国安芸道路(高知龍馬空港IC〓香南のいちIC)開通式(香南市)
高知東部自動車道 南国安芸道路(高知龍馬空港IC〓香南のいちIC)現地セレモニー及び開通記念祝賀会(香南市)
17日〓第1回中芸広域連合議会定例会
18日〓うえるかむ安田協同組合(特定地域づくり事業協同組合)設立総会(南国市ほか)
20日〓安田小学校卒業式
21日〓デジタル化推進検討委員会
24日〓第1回ごめん・なはり線活性化協議会総会(安芸市)
26日〓第1回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会(奈半利町)
27日〓議会広報編集委員会

編集後記

◆旬の歳時記◆

「柱のきずはおとしの」で始まる大正12年に発表された童謡「背くらべ」。

この曲は端午の節句に兄に背丈を測ってもらった弟の視点で書かれている。著者自らの体験をつづったものだといわれていて、ほのぼのとした兄弟愛やその当時の生活文化が彩られている。

この詩には、そんなほほ笑ましいいぐさや様子がうかがえる。幼子の成長を記録するのに柱や壁に目印を付ける風

習があったが、そのようなことも風化しつつある。現在では少子化と核家族化が進む中、2023年の合計特殊出生率は1.2と調査開始以来最低を更新している。子どもの成長過程を見るのは、柱にきずのエピソードではなく、アルバムやスマホ等の機器の中での写真記録が大半を占めている。これからは、デジタル化とともに進化しさまざまなアイテムで記録に残すだろう。

(編集委員 中島)



議会広報発行人

議長 佐竹 正利

議会広報編集委員会

委員長 内川 一則
副委員長 黒岩 円
委員 鶴田 亀代志
委員 安並 功裕
委員 田之上 健太
委員 中島 瑞夫

各常任委員会の所管事項調査

総務教育・産業厚生両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

総務教育常任委員会

開催日 令和7年2月19日

調査事項

①令和6年度総務課・地域創生課・教育委員会からの資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

経過

総務課・地域創生課・教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎現在作成中の戸別避難情報力ルテについて、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えるにあたり、全住民の避難行動を把握する必要がある。この取り組みは、全戸回収に努めるよう求める。



総務教育常任委員会

◎今年度策定の移住定住促進計画は、町が目指す人口減少対策の方向性や具体的な施策が示されるが、当委員会として施策の進捗や成果について報告を求めていく。

産業厚生常任委員会

開催日 令和7年2月20日

調査事項

①令和6年度経済建設課・町民生活課の主要事業の実施状況について

経過

経済建設課・町民生活課から資料に基づき説明を受け、現地調査を行い、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎地域計画について、5年後10年後の安田町の農地をどうするのかしっかりとその結果とともに、令和7年度以降遊休農地の解消とな



新興作物栽培強化施設(現地調査)

るよう進めていくこと。◎新興作物栽培強化施設について振興作物の管理運営はもちろんであるが、適切な周辺整備も行うよう求める。